

音別町コミュニティセンター

開催日時	2018年(平成30年)10月26日(金) 18:30~19:12
会場	研修室1・2
参加人数	19人
出席議員	秋田 慎一 副議長 三木 均 議員 (議会運営委員会委員) 金安 潤子 議員 (総務文教常任委員会委員長) 山口 光信 議員 (経済建設常任委員会委員長) 梅津 則行 議員 (民生福祉常任委員会委員、議会広報特別委員会委員：司会) 佐藤 勝秋 議員 (石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会委員) 続木 敏博 議員 (都心部市街地整備特別委員会委員)

意見	<p>以前の議会報告会から比べると今日は多くの方が参加しているが、議員が事前に音別町に足を運んで案内したり、議員とフェイスブックでつながることでそれぞれの議員の活動が見えてきたりと、議会も随分変わってきたように思う。今後は市民が話を受けるだけの報告会ではなく、双方で懇談するイメージでやったほうがよいのではないかと。</p> <p>災害時の情報伝達について、私はFMくしろの審議委員をやっているのだが、今回はN T Tの専用回線がダウンしてしまい、緊急的にまなぼっとのスタジオを使うことになったが、初めて使った回線で品質が悪かったという報告も受けている。市としても、ラジオを情報源として有効に活用する対策を取ってほしい。また、今回は3、4人のスタッフが60時間以上休みなく放送を続けていたのだが、スタジオには暖房が無く、食事も非常食が少しあるくらいという状況だったことも、皆さんに知っておいてほしい。</p>
金安議員	<p>防災行政無線が聞き取りにくかったため、FMくしろの情報が大変ありがたく思ったところだが、ラジオをつけたときにしばらく音楽が流れていたため、あのような逼迫した状況の中でなぜという意見もあった。私たちもFMくしろを有効活用するよう情報発信していきたいので、何か改善の余地があれば聞かせてほしい。</p>
意見	<p>音楽を流している間にスタッフが情報収集していたのだが、音楽を流す周波数帯とパーソナリティが話す帯域が違っていたので、リスナーのほうがボリュームを合わせるのに煩わしくなり聞かなくなったという話もあった。</p>

また、市役所の防災庁舎に放送システムを設けて、パーソナリティが常駐すれば市からの情報収集も早くなるのではないかと提案もした。今後、より大きな災害があった場合に役立つような情報を収集できたことは、ある意味で良かったのではないかと考えている。

意見 JRが尺別駅の廃止を検討している報道があったが、我々の町内会には連絡もないし、真偽はわからない。利用者も少ないので仕方ないと思うが、88年の歴史のある駅であり、それを簡単に廃止すると言われると理解に苦しむところもある。本当に廃止になるのであれば、廃止後にどうなるのかといったいろいろな事柄について、住民が納得するような説明をするよう、議員からも働きかけてほしい。

金安議員 総務文教常任委員会においても、地元住民から存続を望む声があるといった意見が委員から出ていた。理事者からは、住民からアンケートを取ったり、利用者の推移を見た結果、存続が難しく廃止に向けた動きになったとの報告を受けているが、これからも住民の声をしっかり聞いて、廃止に向けてのただ今の要望も生かしていきたい。

意見 音別地域に関して、今まで以上に興味を持ってもらえるようお願いしたい。音別には、露まつり、商工まつり、BBQまつりといったさまざまな行事があるので、議員にも積極的に参加してもらい、町民と話し合っって音別の実情を把握し、問題点を気楽な立場の中で掘り起こし、探し求めてほしい。

秋田副議長 音別町の地域課題について、一つ一つしっかりと取り組んでいきたい。今年の6月にも音別町の農業関係の方々と意見交換をさせてもらったが、そのように地域の方と折りを見て意見交換をしていきながら、釧路市の全ての地域で釧路市民で良かったと言ってもらえるようなまちづくりにしっかりと取り組んでいきたい。

意見 音別は食材が豊富な場所であり、それらを有効利用したいと考えている。一つは豪華客船が入港した際に音別のおいしい水を提供してもらいたい。地元の水を売り込むことで地域活性化になるし、音別のおいしい水というブランド化にもなるので、ぜひ実現してほしい。また、鹿の対策として、音別に鹿肉の処理場を造ってほしい。

山口議員	今年も釧路市には 20 隻以上のクルーズ船が来ており、観光客も増えている。音別の水の提供に関して、衛生上いろいろな法律などがあると思うが、しっかりと調査して、もし可能であれば市として活用してもらいたいと考えている。鹿肉の処理場については、こういった形で造ることができるのか市に確認する。
------	---

意見	教員の働き方改革とあったが、最も基本的な改革は子どもの学力を上げることだと思う。大阪では低所得者に無料塾券を配って、かなり学力の上昇が図られている。無料ではなく補助券みたいなものでもいいので、消費税が上がった際には現金や商品券を配るのではなく、ぜひ教育に関する施策を考えてもらいたい。
----	--

金安議員	<p>議員提案により制定された基礎学力保障条例と、市が制定している教育推進基本計画の両方でいろいろな策を講じており、教育委員会からは学力検査の結果、改善が見られるという報告を常に受けるのだが、私たちの目から見ると大きな変化はなく、小学校である程度頑張った学力が、中学校になるとまた落ちてしまうという悪循環に陥っている状況である。このまちに住んでいる子どもたちがしっかり稼いで、釧路で生活していけるような基礎学力を身に付けてもらえるように、これからも厳しくチェックし、教育現場の改善も見ていきたい。</p> <p>市では「子ども学習支援事業」を市内3カ所で実施しており、そういったことに対する利用促進であるとか、塾などの無料券や補助券についても、機会を捉えて提案していきたい。</p>
------	---

質問	地域コーディネーターというのは、具体的にどういう人たちで、こういった仕事をしているのか教えてほしい。
----	--

三木議員	現在、市内の小・中学校ではコミュニティ・スクールという制度を実施している。今までは、児童や生徒を育てるのは学校が中心であり、さらに加わるとすればPTAということだったが、地域も子どもたちの教育に積極的に協力していこう、また逆に学校も地域に積極的に出て行って教育をしよう、という学校と地域との協力関係がコミュニティ・スクールであり、この地域と学校の仲介を行うのが地域コーディネーターである。
------	--

質 問	<p>鉄路の存続について、ぜひ釧路市も J R 等と協議を続けてほしい。また、鉄道高架化については、どこまで現実的なものなのか聞きたい。</p>
続 木 議 員	<p>釧路駅周辺整備に関し、J R 花咲線、釧網本線の存続の問題が解決していないのに議論していて大丈夫なのかという質問に対し、市からは、鉄路の存続とは別に積極的に進めるとの答弁があった。財源や土地など、いろいろと整理をしていかなければならない問題があるので、まだ何年先ということとは言えないが、鉄道高架化という方向性の下で北海道と話を進めている。</p>
意 見	<p>釧路駅前に高齢者の受診が多い診療科を集めた総合診療所を建てて、直結するバスセンターをつくってほしい。そこから少し買い物をして帰ることができる、災害時の医療センターにするなど、総合的な構想で進めてほしい。</p>
秋田副議長	<p>さまざまなまちづくりの視点による提案として受け止め、都心部市街地整備特別委員会などの中で議論していきたい。</p>
意 見	<p>釧路市街地の除雪状況が悪い。自然災害が多くなっている中で、安全に運転するためにも改善してほしい。</p>
山 口 議 員	<p>現在、除雪事業者がオペレーターの高齢化などにより縮小しているため、異業種の事業者にもお願いしており、除雪に慣れていないという現状がある。釧路は降雪量は道内他地域よりも少ないが、一度凍ってしまうとなかなか解けづらいという状況もあるが、市に対し、しっかりと意見を伝えたい。</p>
意 見	<p>庭に自分で井戸を掘り、菜園や庭の水まきに使用している。災害時に備えて、井戸に対する補助を行ってはどうか。</p>
金 安 議 員	<p>委員会の中では、トイレの水が出ないときに消火栓から水を使えないかと提案した議員もいた。今回の災害で学習したことはたくさんあるので、今の提案も含めて今後に生かしていきたい。</p>